

町制施行50周年記念事業

フレンドシップコンサート



▲只見中学校体育館でのコンサート

町制施行50周年記念事業としてフレンドシップコンサートが10月15日に季の郷湯ら里で、16日に只見中学校体育館で開催されました。

世界でも最高位の演奏家が在籍するウィーン・ザイフェルト弦楽四重奏団の日本公演の一環で実現したコンサートにはプロの演奏家4名が来町し、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロで構成される世界トップレベルの弦楽四重奏の繊細で優美な旋律が次々と会場内に響き渡りました。

只見中学校体育館でのコンサートには町内の小中学校児童生徒と保護者が出席、緊張感が漂う中、約50分間の演奏に心の底から感激した様子でした。演奏終了後に、只見中3年生の三瓶志門さんから「素晴らしい演奏をありがとうございます。機会があれば、また聴きたいと思います。日本を楽しんでください」と英語でお礼の言葉を述べました。季の郷湯ら里のコンサートでは約170名が演奏を堪能しました。

開通は50年なのかも

八十里越フォーラム

町内の三地区センターでは、国道289号の早期開通促進と開通後のまちづくりを考えることを目的に「八十里越フォーラム」を毎年開催しています。今回で11回目となるこのフォーラムは、10月13日に新潟県側国道

工事現場視察をメインに行い、早期開通に向けた取り組みを推進しようとして企画したところ、町民45名が参加され、新潟県側の工事現場から現在進行している県境トンネルや、工事が進んでいない箇所などについて長岡国道事務所より説明を受け見学しました。

参加者からは「福島県側の工



▲新潟県側の工事状況を視察する様子

事はほとんど完了しているが、新潟県側の工事が進んでいない開通はいつになるのか」などと質問もありましたが、着実に進んでいる工事現場を確認して、開通を心待ちにしている様子でした。

また県境トンネルの掘削は、残り約300メートルまでに達している状況でした。掘削作業は1日約3メートル進むという説明を受け、数年後には福島県と新潟県がトンネルでつながることに参加者も期待に胸を膨らませていました。一日も早く開通して欲しいものです。



▲県境トンネルの工事概要の説明を受ける参加者

しあわせ金婚夫婦表彰式



▲表彰されたご夫婦

平成21年度しあわせ金婚夫婦表彰式は、10月20日に朝日地区センターで行われ、町内で26組のご夫婦が表彰されました。
関谷一只見町老人クラブ



▲三遊亭鳳楽師匠の講座

三遊亭鳳楽師匠・落語講座

10月31日、小川集会所で三遊亭鳳楽師匠を迎え落語講座が開かれ、約90名が詰め掛けました。鳳楽師匠は年に2回只見を訪れ観光されるそうです。この日は秋の紅葉ツアーに来町された時で、小川区の行事に合わせ行われました。参加者は落語の神髄を楽しみ、笑い声は途切れることなく会場に響いていました。

中国の民俗学会に 只見の民具が 紹介されました！

只見町の民具は、町民自らが収集し整理する只見方式で整理され、国指定重要文化財に指定されたことで知られています。これが中国の民俗学会のホームページに掲載されました。平成18年11月、只見町の民具国際シンポジウムに参加された中国の周星愛知大学教授が、只見町の民具を視察した結果を12ページにわたり報告したものです。只見町の概要、文化財、民具カード、民具分類表などがくわしく紹介されています。中国は近代化がすすむ一方で、古くからの民具が廃棄されているといわれます。只見町の民具整理方法が、中国の民具の保存と整理の参考になればすばらしいことです。中国民俗学会のホームページは
<http://www.chinesefolklore.org.cn/zh/>。
画面左上にある写真に只見町の民具が写し出されますが、それをクリックすると論文をみる事ができます。

歴史街道・吉尾峠を歩く集い

福島県地域づくり総合支援事業の一環として「歴史街道・吉尾峠を歩く集い」が10月24日に只見町と昭和村を結ぶ吉尾峠で開かれ、83名の参加者が約4キロメートルの道のりを紅葉を眺め歩きました。峠の頂上では、町文化財調査委員の飯塚恒夫さんや前県文化財保護指導員の堀金保男さんによる歴史の説明や、吉尾峠テッペン宣言、山村再生と連帯ののろし、山頂決議などが行われ、参加者は峠の歴史に思いを馳



▲峠の頂上で記念撮影

せていました。
また、昭和村のしらかば荘で交流会も開かれ、集いを振り返りながら親睦を深めました。

道路は危険がいっぱい気をつけてね

秋の交通安全指導

朝日保育所では、10月16日に幼児と祖父母の交通安全指導を行いました。はじめに後藤春彦朝日駐在所巡査長から交通安全のお話があり、交通安全母の会会長の渡部由美子さんから「只見町からは交通事故を出さないようにみんなで気をつけましょう」とお話がありました。



その後、実際に道路を歩きながら、横断の仕方や信号機の使い方などをおじいちゃんやおばあちゃんと手をつなぎながら教えてもらいました。

この日は爽やかな秋空が広がり、楽しく交通安全について学びました。